

令和7年度第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立みどり清朋高等学校
校長名	藤原 隆志

開催日時	令和8年2月2日（月） 11:00～12:30
開催場所	みどり清朋高等学校 大講義室
出席者(委員)	木下会長、田中副会長、山口委員、高田委員、仲津委員、荊尾委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席、首席・生徒指導部長、教務部長、 進路指導部長、保健部長、総務部長、 第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任
協議資料	学校運営協議会 実施要項 第2回授業アンケート結果、令和7年度学校教育自己診断結果 令和7年度学校評価（案）、令和8年度学校経営計画（案） 令和7年度重点目標及び達成目標・具体方策

議題等

1 令和7年度第2回授業アンケート結果、令和7年度学校教育自己診断結果について
第2回授業アンケート

第1回のアンケート結果から、すべての項目で数値が上昇し、全項目の数値平均が3.52と過去最高値となっている。個々の先生方の授業力向上の取り組みが功を奏していると考えている。今年度でリーディングGIGA研究校としての活動を終える。次年度に向けた取り組みとして、ICTを活用したわかる授業を組織的に継続実施できるような校内体制を整えたい。

学校教育自己診断結果

【生徒】肯定率80%以上の項目が24項目あり、前年比10%以上DOWNした項目はなく、良い結果が並んでいる。

「6：コンピュータ等のICT機器が授業などで活用されている。」肯定率95.2%「29：学校は1人1台端末を効果的に活用している。」肯定率96.3%で、リーディングGIGA研究校としての取り組みが順調に行われている。「8：授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。」肯定率88.0%で、数値は上昇し続けて、高水準を保っている。「7：教え方に工夫をしている先生が多く、授業はわかりやすい。」肯定率84.8%で、昨年度より約4.5%上昇。この2年で9%以上上昇しており、生徒の授業に対する評価は年々高い支持を得てきている。

昨年度、注意が必要な項目として挙げた「10：家庭での予習・復習など学習時間を確保している。」は、肯定率54.7%で、この5年間で初めて50%を超えた。家庭学習をする習慣が徐々に浸透してきていると考えられる。

【保護者】肯定率80%以上の項目が15項目で昨年度より4項目増えた。肯定率50%以下の項目が2項目であった。この2項目のうち1つは「7：子どもは、家庭での予習・復習

など、学習時間を確保している。(46.3%)」で、昨年度より少し数値は上昇傾向にある。もう一つが「26：学校のホームページをよく見る。(36.3%)」で、昨年よりは上昇しているが、数値としては低い水準である。HPの更新頻度、更新内容、視聴するターゲットは誰かを明確にして、情報発信について検討していきたい。

2 令和7年度学校評価(案)について

今年度の達成状況の説明。おおむね良好な結果が得られている。昨年度よりも授業力向上に向けた取り組みの成果や、授業において、発表したり、論理的思考力・判断力・表現力を育成できる機会が増えてきたことから、確かな学力の育成・課題解決力の育成が十分できていると判断している。研究成果については、大阪府教育センター主催の研究フォーラムで発表することで、他校に実践内容を共有できている。地域貢献力の育成については、あいさつ運動や恩智川治水緑地におけるクリーン活動が評価され、2年連続で大阪府のこころの再生府民運動スクール表彰を受賞できた。地域貢献部が中心となり、地域の方々と毎月交流する機会も継続実施できている。SafetyBicycle推進校に指定され、地域と連携した交通安全の取り組みも今年度新たにに取り組むことができた。夏には能登半島において災害ボランティアとして復興支援活動を行うなど、府域を越えた貢献活動にも取り組み、評価された。これらの取り組みは、次年度以降も継続して行っていきたい。

3 令和8年度学校経営計画(案)について

次年度は、まず重点目標の達成をめざし、さらなる地域との連携を充実させる。地元警察署と連携して作成した交通安全動画をはじめ、多くの面で地域連携を深めていきたい。これまでリーディングGIGA研究校として培ってきたICTを活用したわかる授業の取り組みは、校内体制を整えて、組織的に継続実施していき、その成果を他校に発信していきたい。リニューアルしたHPや新設したSNSを活用することで、学校の特色を発信し続ける組織体制を作る。

今回の計画に追加した部分は、教職員の超過労働時間の削減である。教職員の超過労働時間問題を最重要課題と位置づけ、早急に業務内容の見直し、業務役割分担の整理を行うことで、業務改善を行っていきたい。

協議内容・承認事項等（意見の概要）

1 令和7年度第2回授業アンケート結果、令和7年度学校教育自己診断結果、令和7年度の学校の取り組みについて

○遅刻件数が昨年度よりも減少しており、遅刻件数が年間1000件以下を達成できる状況である。自転車通学が多い状況下で素晴らしい数値である。

○校舎の清掃が行き届いており、教育環境も整備されている。

○学校教育自己診断（生徒用）の項目3（80.3%）に対し、学校教育自己診断（保護者用）の項目3（63.3%）である。特色ある取り組みの状況を保護者に発信していくことで、この差をうめていくことが大切である。

○学校教育自己診断の結果から、学校内組織の連携がよくとれているようである。組織を運営していく上で、とても大切なことができている。

○第2回の学校運営協議会の授業見学の際、とても落ち着いて授業を受けている様子を拝見できた。学校教育自己診断（生徒用）の項目7で「授業がわかりやすい」の肯定率が高いことにも表れている。その状況を外部にうまく情報発信できていないようであり、残念である。学校のことを外部の方に知っていただく機会を作してほしい。

○みどり清朋高校の部活動の加入率が多いのか少ないのか判断できないが、他校と比較してどうなのか。外部コーチを部活動に導入している学校があるという話を聞く。部活動の活性化のために、外部コーチをどんどん活用してほしい。

○学校教育自己診断の各項目の肯定率の高さに、先生方のご尽力が反映されている。先生方に感謝したい。

○働き方改革はとても大切である。決まった時間の中でどのように業務をこなし、部活動指導を行っていくのか、次年度の取り組みに期待したい。

○地域貢献部の生徒を中心とした地域イベントへの参加について、今年度は昨年度の取り組みに加えて、廃油を使って制作したキャンドルを活用し、恩智川の河川敷で実施された「キャンドルナイト」の取り組みを拝見した。とても魅力あるものだったと思う。

○文化祭の有志企画を拝見したが、とてもいいと思った。生徒たちの中で交わされていた会話の中で、来年は有志企画に取り組みたいなどの前向きな発言を聞くことができた。生徒たちの中でみどり清朋高校の良き伝統が受け継がれていく瞬間を見たようで、良かったと思う。

2 令和7年度学校評価（案）について

○今年度の重点目標について、評価基準としている学校教育自己診断の結果は良好。目標値を上回るか、または昨年度並みの数値を堅持している。授業がわかりやすい点で高評価を得られていること、こども保育専門コースを有している地域密着型の学校としての評価も得られている。外部への情報発信において、課題は残るが、全体として学校経営計画は達成されている。

○令和7年度学校評価（案）は全会一致で承認された。

3 令和8年度学校経営計画（案）について

○今年度実施した事業について、一部削除された項目はあるが、それ以外の項目については全体として目標値を現状維持レベルに設定した計画とされている。元々、各項目については、高レベルでの目標設定であるため、次年度もその目標達成に向けて学校としての取

り組みに全力を注いでいただきたい。広報活動について推進していく組織体制が作られており、肯定率回復に期待したい。

○令和８年度学校経営計画（案）は全会一致で承認された。

次回の会議日程	
日時	令和８年６月１８日（木）１４：００～１５：３０
会場	みどり清朋高等学校 大講義室